

令和6年11月22日

全群教最終回答

- 1 教職員の未配置について
喫緊の課題と認識しており、欠員が生じないように、最大限の努力を講じていきたい。
- 2 特別支援学級の学級編制基準の引下げ及び教職員の配置について
特別支援学級の学級編制基準の引下げの必要性は認識しており、引き続き、国に要望していきたい。特別支援学級の困難さは認識しており、教職員の加配措置については、学校の状況に応じて、柔軟に対応できるよう努めていきたい。
- 3 教育支援について
教育支援を進める際、発達検査については専門家によるものが望ましい。
- 4 教職員の長時間過密労働の解消について
教職員の多忙化解消は最重点課題の一つと認識している。業務の精選の推進など、具体的な多忙化解消につなげていきたい。
- 5 部活動について
必ずしも教師の担う必要のない業務である部活動の負担軽減を進めていきたい。
部活動の顧問については職員の意向を充分配慮し、顧問強制のハラスメントにつながらないよう管理職を指導するとともに、希望しない教職員が部活動に関わる必要がない環境を整備していきたい。
- 6 教職員の研修等について
教職員の研修等については、教職員自身の主体性を十分に尊重し、研修が負担にならないよう、管理職に周知徹底していく。
- 7 新体力テストについて
新体力テストの実施について、組合と意見の相違があることは認識している。
- 8 「全国学力・学習状況調査」について
本調査の目的が競争主義に陥らないようにするべきということは共通の認識である。学校現場や教職員の負担も配慮した施策を講じていきたい。
- 9 業務上の過失等による賠償責任について
教職員の職務に関して生じた賠償について、国家賠償法の規定により対応を行うということは共通の認識である。個別の事例については適切な対応を行うよう指導を行ってまいりたい。

10 ICT教育について

ICT活用が目的化してしまわないよう、十分留意する。

11 休憩時間について

子どもたちを相手にする学校の勤務においては、休憩時間が取りにくい状況にあると認識している。休憩時間を取りにくい状況に十分配慮するように、市町村教育委員会と連携して管理職へ指導していきたい。

12 時間外労働について

時間外在校等時間や持ち帰り仕事の状況について、引き続き、各校の管理職に対し、把握と改善に努めるよう指導していきたい。

13 研修における自己負担について

研修においては、費用を個人で負担することのないよう努めていきたい。

14 高校入試について

入学者選抜実施要項について、前年度中に公表することは困難であるが、今後、例年より早めに公表できるよう努めたい。

Web出願の導入年のため、対応する業務が多いことは認識している。

Web出願システムの運用にあたり、トラブル等による不利益が志願者に生じないよう対応していく。

15 教職員の業務について

教職員が様々な業務に従事していることは認識している。管理職がその権限と責任を踏まえて適切に配慮・対応できるよう指導していきたい。

16 指導主事訪問について

指導主事訪問実施に当たっては、教員の過度の負担にならないよう、訪問内容の見直し及び訪問時間の縮減、授業参観数の削減、学習指導案の簡素化や形式の変更、提出方法の改善等に取り組んでいきたい。

17 教育委員会からの提案事項について

- (1) 今年度の給与改定については、人事委員会の勧告どおり実施する。
- (2) 非常勤講師の報酬単価については、見直しを行う。
- (3) 休暇、休業制度については、見直しを行う。